

大型クラゲの出現状況

(平成 24 年 8 月上旬現在)

(独) 水産総合研究センター及び関係機関が行った調査によると、依然として多数の大型クラゲが黄海中央部～濟州島沖を中心に分布しています。これらは主に対馬海峡西水道から日本海へ流入し、8月中旬ごろには丹後半島沖合に達するものと予想されます。

1 大型クラゲの出現状況

- ・ 7月21日～24日に、日本-中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査では、黄海及び濟州島南沖を中心に大型クラゲの出現が認められました。
- ・ 現時点での出現量は、依然として昨年度及び一昨年度より多い状況です。
- ・ 対馬海峡では、7月18日前後から主に西水道で大型クラゲの出現が認められています(定置網に最大46個体入網)。
- ・ 山陰海域では8月6日現在、大型クラゲは確認されていません。

2 大型クラゲの出現予測について

- ・ 現在、黄海～東シナ海に分布している大型クラゲは、主に対馬海峡西水道から日本海へ流入すると予測されました。
- ・ 日本海へ流入したこれらの大型クラゲは、韓国東岸を北上して離岸した後、大部分は再び南下しながら分布を東方に広げるとともに、分布の先端の一部は8月中旬ごろに丹後半島沖合に達する可能性が示されました。

資料：(独) 水産総合研究センターのホームページ

(http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_top.html)

(社) 漁業情報サービスセンターのホームページ

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター
資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004